

「ホームメイド・延岡」

うちだりさ通信 vol.4 2009年9月号

<http://www.uchidalisa.com/>

文・写真:うちだりさ



延岡にお住まいの皆様へ

平成21年8月30日に衆議院選挙が行われました。私が日本、そして宮崎県に何を求めているかと言えば「何を次世代に残し、どこを磨き上げていくのか」ということを常に考え、近未来の姿をしっかりとイメージし前進するという意識を育てることです。

これからの社会は、儲けや競争に勝つこと、生活の利便性ばかりを考えることを重要視するのではなく、地元の良い面・悪い面の両方をきちんと受けとめた上で、与えられた価値観ではなく、独自の価値観を育てることが大切だと考えます。

近自然学

6月のはじめ、家族で北川町の旧松葉小学校付近に「ホテル鑑賞」へ出かけました。暗くなるにつれ、ホテルがクリスマスネオンのように「ぼうっ、ぼうっ」と光出します。とても幻想的で、そんな光景を家族3世代で見ることが出来る喜びを感じました。

ホテルが生息するスポットは、綺麗な水や、生い茂る草などに恵まれていて環境のパロメーターを表しています。今、この光景が残っているのは、自然を大切にホテルを見守る地域の方々地道な取り組みがあったからこそだと思います。

今、世界的な不況のあおりで市民の生活も変わり、先日、延岡市でも生活に疲れた母親の幼児虐待により子供を死亡させる事件が発生しました。やはり、今一度市民の生活を考え直し、競争や儲けだけを考えるのではなく、自然の保全・エネルギーの節約、そしてきれいな水を守ることに市民の意識を向け、人々が温かさや優しさを持つことの出来る環境を整えるべきだと考えます。

これらの環境問題への取り組みを「地方の新たなチャンス!」と考えると、公共工事においても様々なことが考えられます。景観重視の観点より、水辺を美しくし、市民の憩いの場所を造ります。災害予防の観点より、川の堅い護岸を造るのでは



なく、川幅をとり、代わりに植物を植え水辺の環境を整えます。これにより、予想以上の洪水量を一時的に止めることが出来、また将来的には河川工事等の予算削減につなげます。

交通事故防止の観点より、ラウンドアバウト(ロータリーのような交差点)を増やすことにより、速度を落とすことにつながり、交通事故防止につなげます。街の中に緑を増やし、自然や歴史、文化の持つ「気持ち良さ」とその風景を保護することで、自分の住むまちへ感謝の気持ちと最終的には人間教育に結びつけばと考えます。

<近自然学とは>

自然の力を活用した(借りた)持続可能な人間社会(=近自然社会)を構築するために求められる体系学問(計画論、技術論、その他の理論)

第21回東雲会

8月14日(金)、第21回東雲会(延岡東高校、星雲高校同窓会)が開催されました。

私は東高13回生なのですが、とうとう私たちが実行委員を引き受ける年齢(35~36才)となりました。たくさんの方々にご協力いただいたことにとっても感謝しております。ありがとうございました。

今回、企画部長を仰せつかり、仲間の知恵と工夫で予想以上の内容となったと思います。皆で感動したこの日を決して忘れることはないでしょう。私たちのテーマであった「結(yui)」は、永遠のテーマとなりました。

いつかまた、元気な笑顔で同窓会を迎えられたらと思います。



アトラクションで仮装して踊りました(中央奥)